

ろうさん彩登

サイ ト

埼玉県勤労者山岳連盟

機関紙：発行責任者 武笠真次
編集 小松勝浩

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂4-1-5ふじビル2階
TEL・FAX 048-838-0640

<http://www.tozans-justhpb.jp/>

13号目次

P1：県連の動き

P3：富士見市峠山の会活動報告

P4：岩ネット参加報告

P7：第19期登山学校 開校式報告

P8：第19期登山学校 第1回講座に参加して

第47期第1回評議会開催予定

テーマ「今後の県連活動についての懇談会」

2014年6月22日（日）午後13:30より

高鼻コミュニティセンター 大会議室

遭難防止・安全教育担当者会議

2014年6月22日（日）午前10:00より

高鼻コミュニティセンター大会議室

機関紙担当者連絡会議

2014年6月22日（日）午前10:00より

高鼻コミュニティセンター大会議室

県連の動き

委員会活動報告

全国連盟活動

新特別基金運営委員会5/27【全国連盟事務所 2F】20件申請有り（提出日・承認日無多数）

全国遭難対策担当者会議7/5～6（土・日）【全国連盟事務所 1F】

県連全体活動

2013年度決算の改正版配布、機関紙委員選出を各会に依頼。次回評議会にて県連活動への各加盟会の参加促進等懇談します。

事務局

遭難防止・安全教育担当者会議、第1回評議会配信

機関紙

機関紙電子版12号発行

各会に機関紙担当者の推薦を依頼中。締切6月10日

次月6/11日 原稿投稿は早めに。（第13号）

財政

連盟費第一期分 次回理事会で申請

新理事交通費ルート確認

ホームページ

5/14 機関紙電子版12号発行掲載、47期役員紹介

機関紙委員推薦登録のお願い掲載、沢ネット予定掲載

女性

女性委員会：5月会議無し、次回6/9 予定

6/27～28 女性担当者会議（国立オリンピック記念青少年総合センター）

委員会活動報告

ハイキング

ハイキング委員会：5/22 パルコ 佐藤、伊藤正、澤藤、5/27会議無し
次回6/ (未定)

自然保護

足尾の植樹 4月27日(日)、荒神山登山 参加者：埼玉労山84名＋秩父生態系協会7名

計91名 以下詳細

西部B：59名(新座10、ヒースター9、所沢2、飯能8、埜歩々7、峠12、山なみ11)

中部B：0名

南部B：7名(わらび6、三郷1)

北部B：18名(熊ト7、秩父7、上里4)、労山外：秩父生態系協会7
6/1 クリーンハイク 9/13～15 石巻支援

登山学校

5/17 19期開校式 受講者27(3名欠席)名、スポット 名、運営委員11名 内訳：所ハイ2名・三郷3名・山なみ3名・日進1名・労山P1名・無所属20名 6/2 運営委員会

第1回講座「計画から下山まで」机上6/7、実技6/8

6/30 運営委員会

救 助 隊

4月7日(月) パルコ10F第13会議室

4月14日(月) 第1回役員会、5月11日(日) 武川岳訓練 11名参加

5/21役員会中止 6/9第3回役員会

7/7沢搬出学習会 7/27 沢搬出訓練大洞川鷹ノ巣沢

岩ネット

5/18(土) 日和田山ゲレンデ 10名(新座5+1入会手続き中、わらび、所沢HC、つるばみ、山なみ、彩友：水谷 各1名)

次回6/21(土) 9:30日和田ゲレンデ

沢登りネットワーク

月1回位計画予定：交流と技術の向上を図る

7月、8月、9月、10月予定をHPに掲載しました

① 7月20日(日) 日帰り奥多摩；丹波本流or 谷川・ヒツゴー沢[打合せ：7/9(水) さいたま市民活動サポートセンター(パルコ9F) 19:30～

② 8月30日(土) 奥秩父；東沢ホラ貝のゴルジュ[打合せ：8/27(水) さいたま市民活動サポートセンター(パルコ9F) 19:30～

③ 9月13日(土)～15日(月) 前夜発越後；佐梨川・オオチョーナ沢or 中ア；中田切川・大荒井沢[打合せ：9/3(水) さいたま市民活動サポートセンター(パルコ9F) 19:30～

④ 10月11日(土)～12日(日) 上信越；長笹川ガラン谷or 奥美濃；板取川・川浦谷銚子洞[打合せ：10/1(水) さいたま市民活動サポートセンター(パルコ9F) 19:30～

加盟団体活動報告

加盟団体の総会予定

総会3/30峠、4/6やまなみ、4/6新座。4/9わらび。4/13三郷。

5/17日進。6/29大宮

5・19彩の山

加盟団体活動報告**富士見市峠山の会活動レポート**

富士見市峠山の会 高橋記

2014年5月11日（日）恒例の交流ハイキングを妙義山で行う。

5月晴れの好天気恵まれ参加者会員25名 外18名の43名 バス45名乗りで
ほぼ満席でした。昨年は天気予報と地域のイベントと重なり直前にキャンセルが続出
しリーダー等大変でした。そうした経験を今回は生か

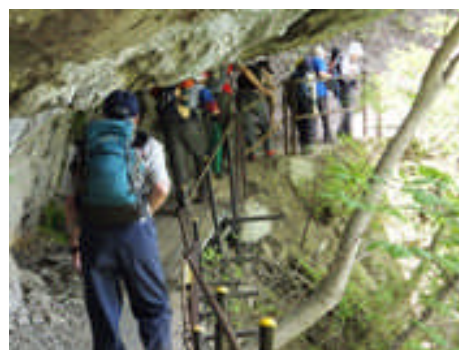
し準備万端に行い大成功でした。奇岩そそり立つ妙義山

コースは中之岳神社の140段の階段から登り始める関東
ふれあいの登山道を43名を5班編成でにぎやかに歩く。
第四石門で休憩し全員の記念写真を撮る。

大砲岩登っての八ヶ岳、金峰山が展望できた。

登り下りの階段を繰り返しながら東やに着き、ランチタ
イム43名の大勢ですので貸切でした。また峠山の会と
してとん汁を参加者全員に振る舞いました。登山道は登

り下りのよく整備された関東ふれあいの道を本読みの僧、更に第二、第一見晴台を通
り妙義神社にケガなく全員着く。このあと近くの温泉で懇談しながら疲れを癒す。帰
りのバスでは感想を発表しながら楽しんであと、2、3名が入会を希望した。今後3
名が入会予定です。

**ブロック活動報告**

西部＝ブロック会議	5/15	6/1クリーンハイク	15時越生駅集合
南部＝ブロック会議	5/22 6/19	6/1クリーンハイク	西吾野方面
中部＝ブロック会議	報告なし		
北部＝ブロック会議	報告なし		

岩ネット

日和田山の岩ネット参加レポート

日和田山の岩ネット 4月19日（日）天候：晴れ

新座山の会 杉江由美子記

日差しの温かい穏やかな日和となって、日和田ゲレンデに到着すると、すでに多くのクライマーたちで賑わっていました。

水谷講師らによって早くも数本のロープがセットされていて、私たちを迎えてくれました。新年度第1回は17名の参加者となり、去年の最高15名の記録を超えたとのこと。

久しぶりに懐かしい仲間と会って、さあ頑張ろうと気合が入ります。常連のベテランたちは難しいルートへと移り、私たち初心者は水谷講師からホールドのつかみ方や体重移動など基本を教わって、まずは男岩南面の優しいルートからトライです。

1年ぶりの岩の感触・・・緊張で気が引き締まります。足の上にお尻を持ってきて体重を乗せてから立ち上がる・・・悲しいかな、しっかりしたガバがないと不安なのです。足が8割と教わったにもかかわらず、頭で理解しても体がついてゆかず、腕の力で登ろうとする典型ですね。不安定なホールドでバラバラなムーブをしては立ち往生です。

下方からはアドバイスが飛んできますが、その通りに登れないのが技量の無さ。

ただ練習あるのみと痛感します。それでも2度トライして、次は「出稼ぎルート」（面白い名なので覚えました）左のカンテ沿いに移ります。

やはり簡単にはクリアさせてくれません。

必死に登っているうちにロープが岩角に引っかかってしまい、いくらさばいてもびくとも動かず、見かねた水谷講師が手助けに登ってきてくれました。

足のすぐ下に講師の頭が見えて、ここで私が落ちたら共に転落？と想像して必死に岩にしがみつき、講師はあくまでも冷静です。

岩ネット初参加で、岩は10何年ぶりという2人は楽しそうに登ってゆき、登山学校受講生は若さとスリムな体型を生かしてスルスルと軽快な足さばきで、あれよあれよと見守るうちに到達しました。自分の練習は後回しにして私たちを確保してくれる方々など、初心者からベテランまで集って和気あいあいと練習できる岩ネットはとてめえありがたいです。いつまで経っても初心者の域を抜け出せませんが、それはそれなりに楽しく学べて、次回も頑張ろうと思うのでした。

岩ネット

日和田山の岩ネット参加レポート

日和田山の岩ネット 4月19日（日）

所沢ハイキングクラブ 清水 美紀 記

今期 第一回目の岩ネットが4月19日 日和田で行われた。前日はまとまった雨が降り、岩が濡れていたら・・・登山道がぬかるんでいたら・・・と気をもんだが、当日は雨の心配はなさそうで日和田に向かった。川沿いの駐車場に車を止め、一人登山道を目指す。川淵には春の野草、オオイヌノフグリ・オドリコ草・小さなスミレと春満開。

登山道に入ると、ん？間違えた？何だか随分スッキリしちゃって、木が伐採されてかなり先まで見通せる。ハイカーにとってはうれしい限り（でも、ちょっと困るかも）。10分で岩場到着。体も暖まり、皆さんと挨拶を交わし急いで仕度をする、ルートを確保している場所に上がっていく。南面のいちばん奥と中央よりの2本、久しぶりの岩登りで体調に不安はないか、恐怖心はないか自分に問いながら体をほぐす。

準備が整い集合し、簡単な自己紹介と水谷さんからの諸注意・説明を受け、練習開始。総勢17名、初参加の方が3名。ビレーを担当し、それぞれルートの練習に励む、初参加の方々にエイトノットの結び方を教える方、登り始めのザイル結びを点検してくれる方、下からコースを案内・攻略法を教える声。ビレーしながら、声を張りあげながら、“好きな事を通じて集まって来た人達、自然と役割分担が出来てくるんだなあ”と感心しきり。大人の集まりは違うよ！！初参加の方々が登っていく姿に、3年前の自分とオーバーラップする。下からのアドバイスに言葉の意味も理解できず、下から見上げていた岩と実際に登っている岩が全く別のものに思われ、すぐに腕がパンプした。降りる時に、「ザイルに体重を預けて座るように・手はザイルから離す！」・・・下から聞こえる声に、怖い・無理だし～と、心で叫んだような いや実際叫んだ気がする。

そんな私がビレーしながら、同じ事を叫んでいる。なんと上手く出来ているのか、順繰り、ゆっくり恩返し・・・と私傷なのはここまで。

Kさんの「今日はビレーに徹するよ」に感化されて、よし私もビレーに徹するぞ！と強く思ったのに、ダメ無理！登りたい。ビレー交代して～と声に出して、久々のルートに満面の笑みが隠せない。いちばん奥のルートはスラブを逃げずに登る、これが私の課題。クラックにつま先を入れ、また靴底をスラブ面に押し付けて難なくクリア。

中央のルートは右面使用NG。左のほんの少しハングしている所をトラバースして最後はキョン足でクリアが目標。ここが思った以上に面白い、2回挑戦するも 一回目の方が自分のイメージに近いような気がした。あっという間に午前中は終了。

午後からはビレーに徹し、皆さんのパワーに圧倒されて楽しく充実した一日が終了した。

参加された、皆様ありがとうございました。

今期、見習い理事として一年お手伝いをさせて頂きます。来期は見習いが取れるように努力していきますので、宜しくお願いいたします。

岩ネット

日和田山の岩ネット初参加レポート

日和田山の岩ネット初参加 5月18日（日）天候：晴れ

山なみハイキングクラブ 矢吹 英則 記

日和田山ゲレンデで行われる岩ネットへ初めての参加です。

前日の登山学校入校式で岩ネットについて水谷講師に質問したところ明日、日和田山ゲレンデで岩ネットが開催されるので参加して見たらとのお誘いでクライミング用の靴とヘルメットを借用し、自分で準備できる装備を持ちドキドキの参加です。

集合場所が日和田山と聞いていたのですが、岩登りの場所がわからず集合時間に遅れてしまい、到着したときには、参加されている方々が岩に取り付いていました。

急いでハーネス、水谷講師から借用した装備を装着し、岩の直下で待機。水谷講師からエイトノットの結び方、岩のつかみ方、足の置き方、体重移動等をマンツーマンでご指導いただきいざ初挑戦です、初歩のルートとのことですが岩に取り付いてみると見た目以上に手の掴みと足の置き位置が難しく水谷講師からアドバイスをもらいながらやっと登ることができました。

最初のルートを何度か練習した後に参加されている方々と同じ登攀ルートにトライし参加者の方々からのご指導により何とか登ることができました。

二度目に別のルートからトライしましたが途中で握力、腕力の限界により断念しました。

参加者の方々がロープの設定で何度も難しいルートを難なく登攀していく姿を羨望しつつあっという間に時間が過ぎていきました。

水谷講師がクールダウンのコースで終了とのことでしたが、握力、腕力限界の私にとって必死で取り付かなければならず、ぎりぎりで登ることができました。

最後に東面からの懸垂下降との事でしたが東面が他のグループに使用されていたため西面から初の懸垂下降で終了しました。最初にご指導いただいてからあっという間に17時過ぎの時間になっていました。

今回初参加でしたが講師、参加されている方々のご指導に感謝です。

次回参加までに握力、腕力等を少し鍛えてまた挑戦したいと思います。

※ 参加者：新座×5（入会予定者1名含む）、所ハイ・わらび・橡・山なみ×各1、彩の山×1



登山学校

第19期登山学校開校式が5月17日（土）浦和コミュニティセンターにて行われました事務局より担当講師の紹介・講座の説明（スライドを交え）が行われました。今期は30名の年間受講者でスタートします。労山会員が8名一般参加22名の構成です。一般参加の方にはぜひ労山会員になられるよう勧めていきたいと思ひます。

今期も8月にテント泊体験の特別講座を開講しますので卒業生の方も是非ご参加ください。今期もスポット参加は、登山学校卒業生に限りませんが若干名受付いたしますのでご希望の方は早めに事務局までお申し込み下さい。事務局 小松勝浩 記

氏 名	県連役職	所属会
武 笠 真 次	県連理事長	わらび山の会
※ 駒 崎 弘 安		わらび山の会
伊 藤 正 勝	全国理事	わらび山の会
高 橋 五 男		浦和くまざさ山岳会
水 谷 克 明	県連理事	彩の山友会
高 野 久 美		彩の山友会
榎 本 四 郎		わらび山の会
榎 本 佳 子		わらび山の会
山 口 雅 彦		わらび山の会
小 林 和 文		新座山の会
尾 手 利 雪	県連理事	三郷山の会
八 木 原 健 一		三郷山の会
磯 野 京 子		三郷山の会
小 松 勝 浩	県連理事	三郷山の会

※事務局長



登山学校

第1回講座「計画から下山まで」

第19期登山学校 第1回目講座『計画から下山まで』に参加して
19期受講生 志 築 英 明

[1日目 6月7日 机上学習 於:武蔵浦和コミュニティセンター]

開校式以来1カ月ぶりの顔を会わせて、まだ顔と名前を覚えてないメンバーばかりで少々緊張気味の中で小松先生の講義がはじまった。装備、歩行等の基礎的な講義などと、ルート情報、気象情報等事前入手できるホームページの紹介があった。

休憩を挟んでからは5つの班に分かれての学習。まずはプレートコンパスの使い方。コンパスを『振る』という表現が初めてだったので 振る??ってな感じで興味津々。私が今まで持ち歩いてたのは簡易的な丸い形状で単に“方位”を知る使い方しか知らなかったのだが、プレート型は目標点の方角を記憶できるので便利だと知った。翌日の実技山行では地図に載ってない分岐点に差し掛かった時にとっても役立つと感じた。GPS機能の付いたスマホは確かに便利だが、原始的なツールを使いこなせるのも楽しいなあと思った。午後は登山計画書の書き方。 翌日の大小山予定コースに従って 当日の行動を頭に浮かべながら、 コースの概略図と行動予定時間、メンバー構成と役割等の 必要項目を班のメンバー達と相談、教え合いながら書き込んだ。

[2日目] 6月8日 実技講習 栃木県 上毛線富田駅から 大小山ハイキングコース

出発前夜の天気予報は埼玉県全域に大雨洪水注意報が出ていて、土砂崩れにも注意とのこと。ホントに大丈夫か?との不安感と、激しく屋根を叩き突ける雨音が気になり、その晩は熟睡出来ずに出発の朝を迎えた。

集合場所の上毛線富田駅に到着してからレインウェアを着込んで、各班に別れて 小雨のなか出発 [9:20]。途中の斜面ではスリングハーネスの掛け方、ロープを伝わっての斜面降下の実技も学んだ。たかが300m程度の山と甘く見ていたが、頂上付近になると結構な岩場が沢山あって手応え充分だった。妙義山山頂でお昼休憩。今にも一雨降りだしそうだったのでさっさと食事を切り上げた後は計画書作成時に決めてあったエスケープルートを辿ることになった。しっかり準備しとけば慌てずに、また、その時その時の状況に合わせてプランを臨機応変に切り替えることができ、心理的にも余裕ができることを学んだ。登下山途中、同行していただいた運営委員の方には、様々な状況での足の置き方、バランスのとり方など細かなアドバイスをいただくことができ、これも登山学校実技講習ならではの感想だ。[13:43] 予定より早く阿夫利神社に到着。集合写真、ストレッチ体操、グループでのショートミーティングが終わり解散となった。

とぼぼ同時に雨足が速まり大粒の雨が降りだした。

登山学校一回目の実技山行を無事終え、お世話になった運営委員、参加者の皆様にはこの場を借りてお礼を申し上げます。来月からの続きの講座がとても楽しみになりました。以上

